

君ねえ

君のせいで
うちにいくら
損害出たか
分かってるのか

君のところとの
付き合いも
考えなくちゃいけないな

申し訳ございません…

そっ
それは…

考え直して
欲しかったら…

ねえ…？





この人は
お得意様の社長……

うちは最屑にして
もらってるので

頭が上がらない……

あ

もーゆ

もーゆ

これは今から
楽しみだな



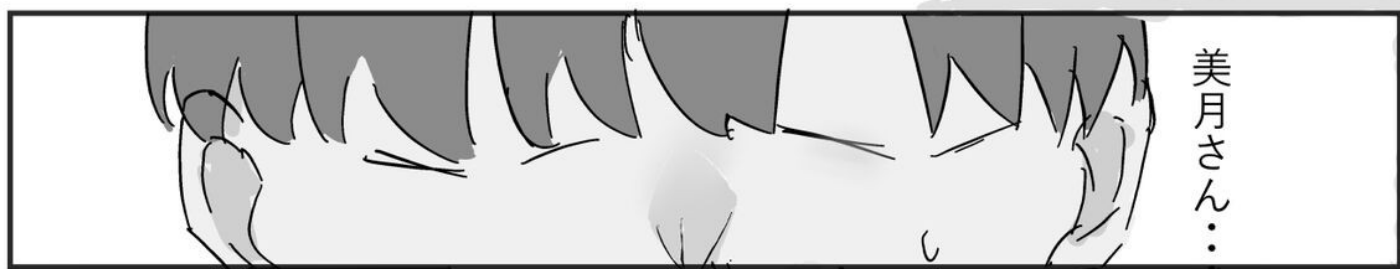
美月さん

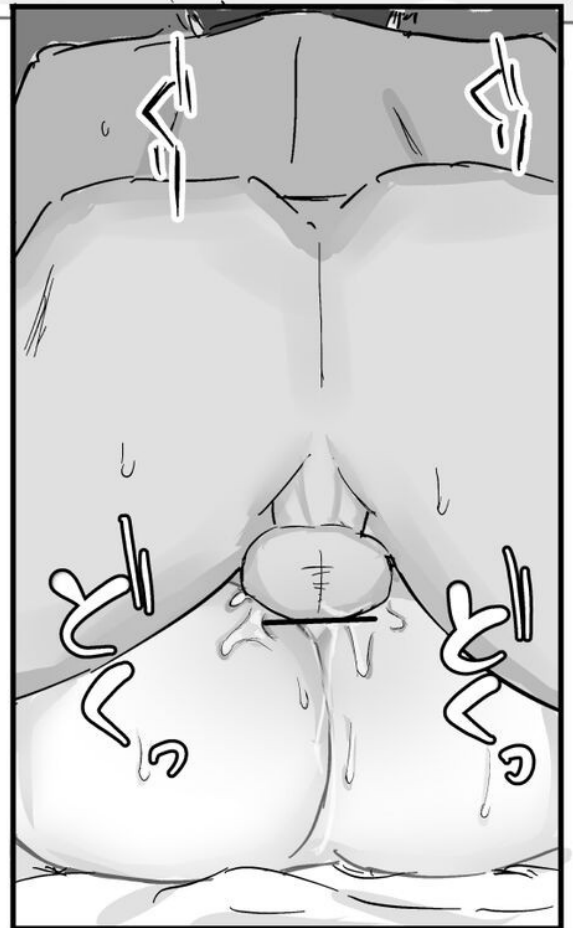
ごめん
こんなことになって……

スッ

しょうがないわ

大丈夫よ
私達ふたりで
乗り切りましょう









目の前の
情けない旦那を
見てみる







よし
射精すぞ

旦那にもよく
見せてやれ

あぁ

あ

あぁ

す
ふ
や

ズ
ッ
ズ
ッ
ズ
ッ

す
ふ
や

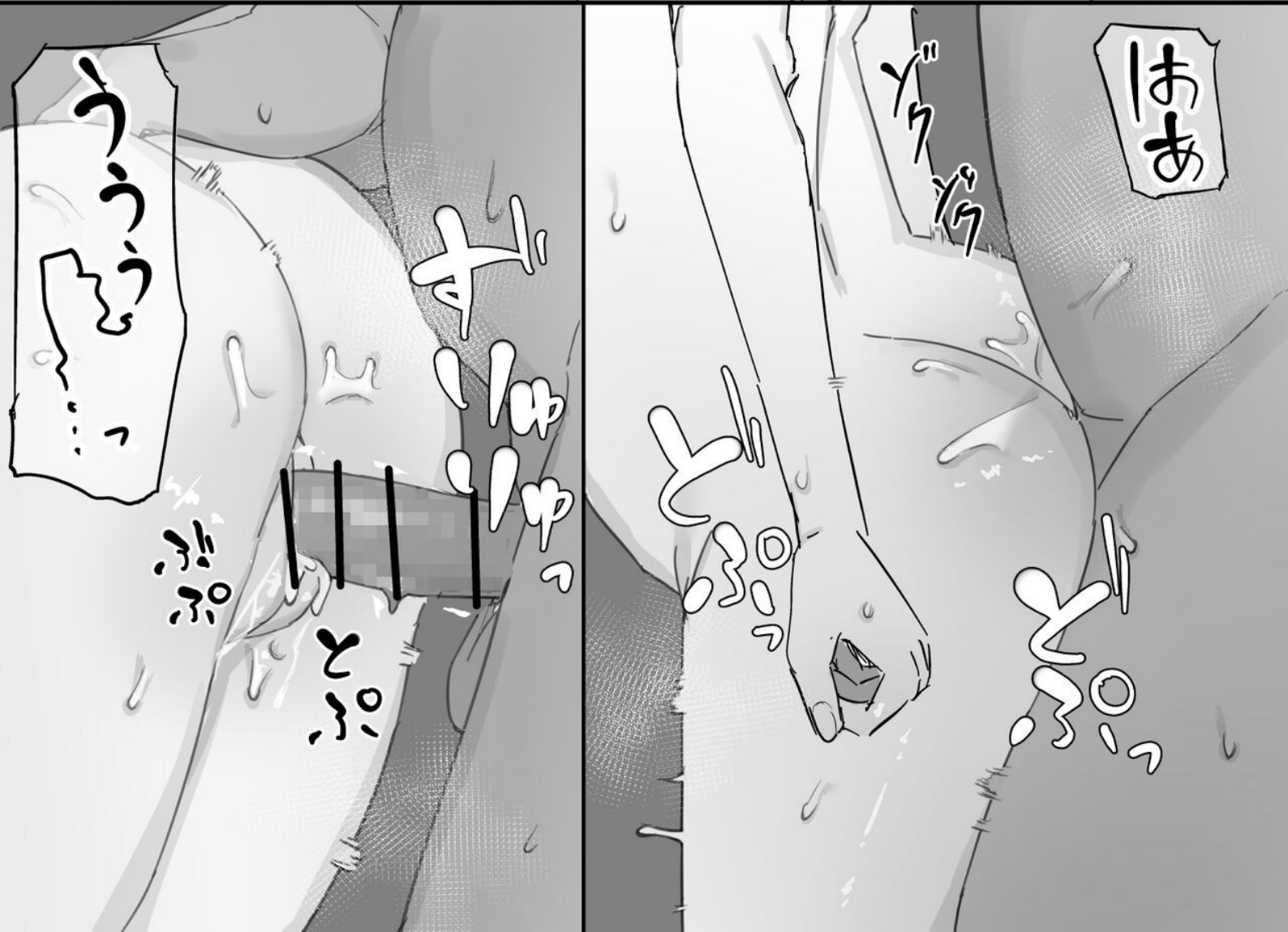
はぁ

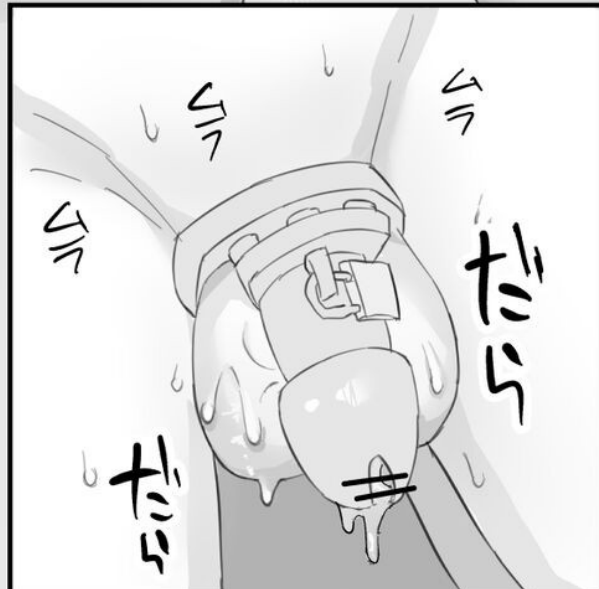
ぱん

イクッ

イクッ

はぁ
ちゅ







ただし
射精の仕方自由ではなく
今回は美月さんに手でさせた

はあ

僕はこの場でだけ
貞操帯を外して
射精することを許可された…

あなた…
気持ちいい…？



ああ…っ
美月さん
イッチャう…っ



あ



妻の行為を見て
興奮した状態では
すぐに果ててしまった…

あああ…



もう出ちゃう？

うん
いいわよ
イッて



美月さん……っ
気持ちいい……っ



へっあ



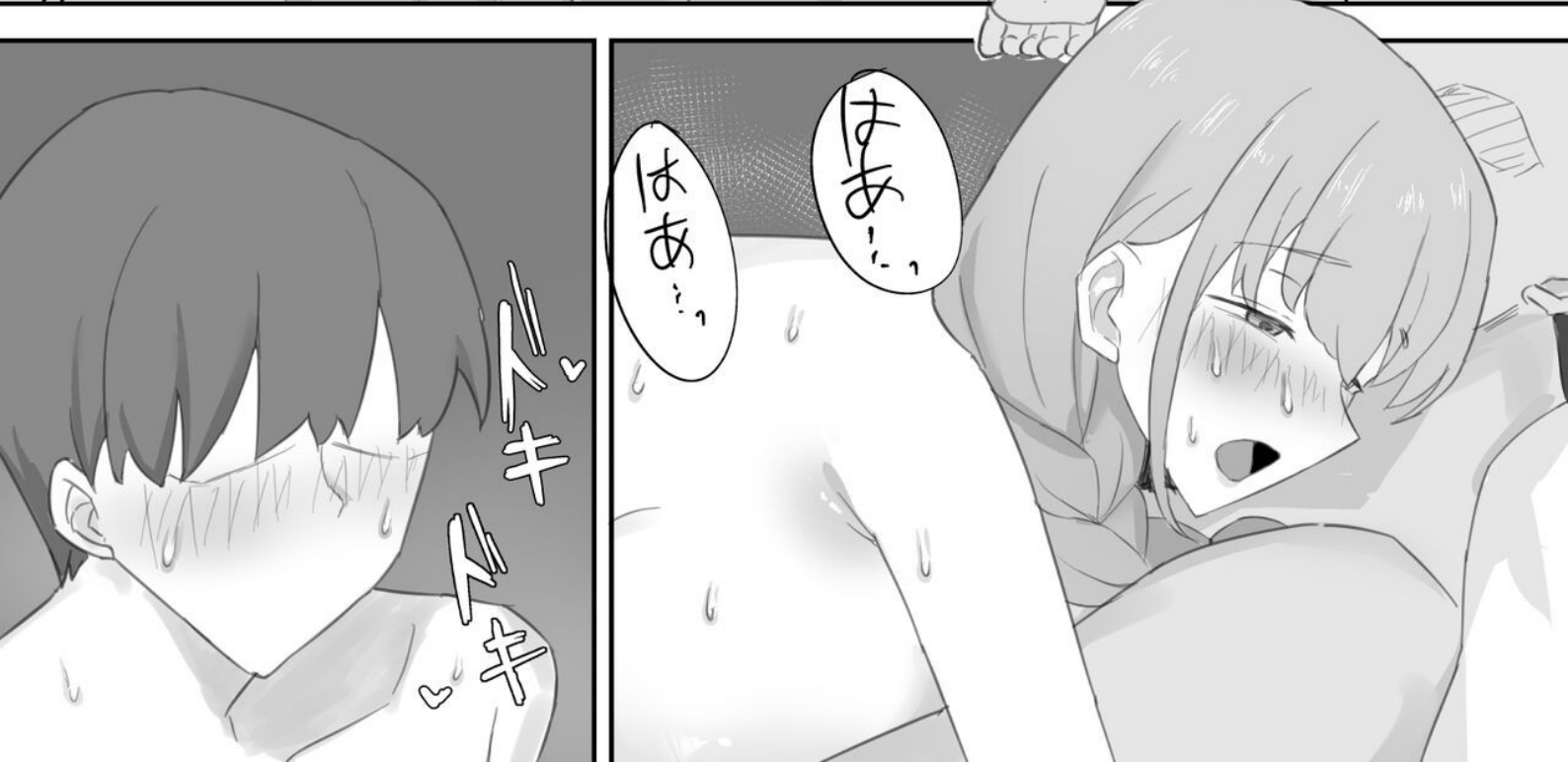
すごい濃い
オスの匂い……

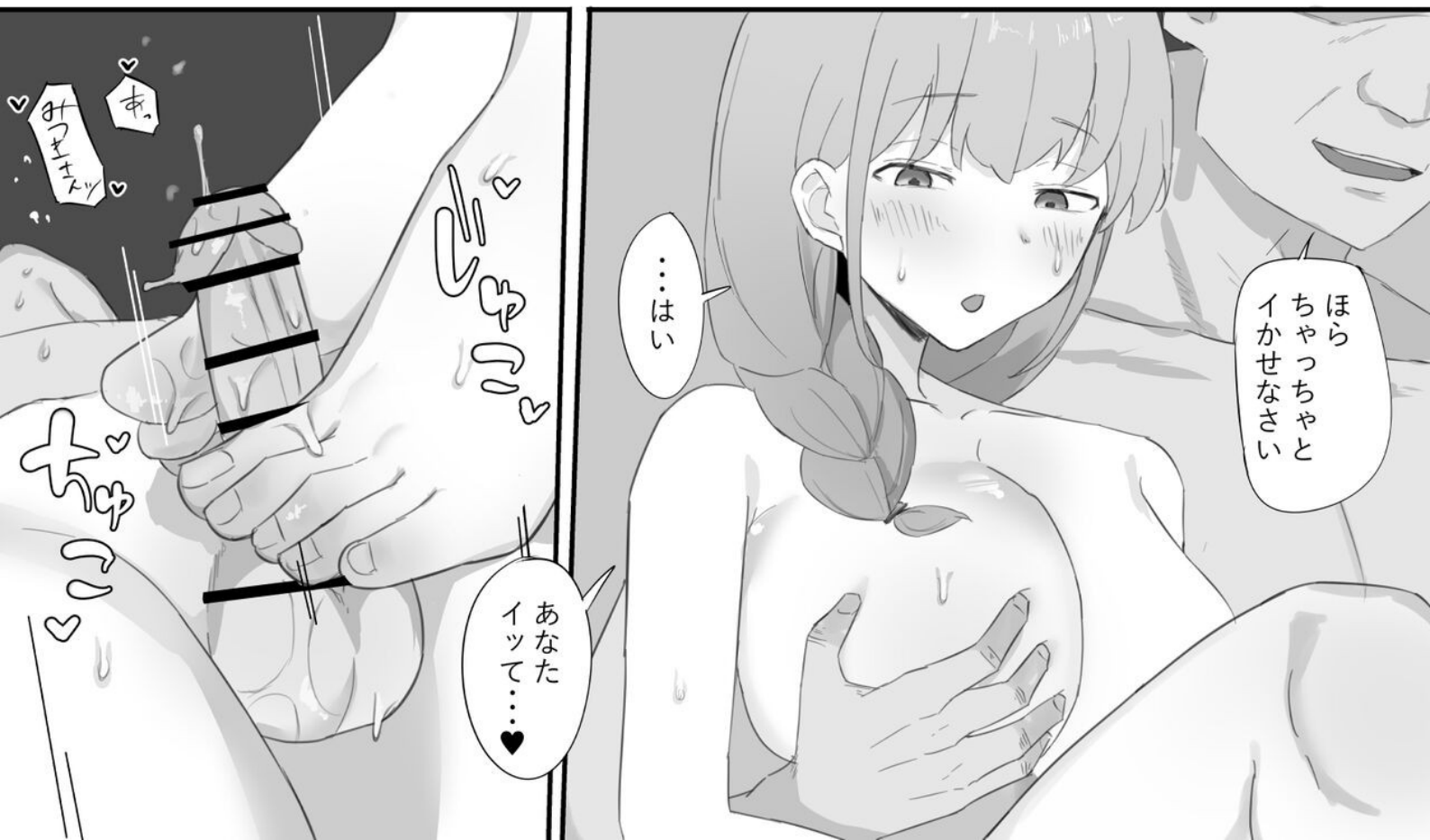


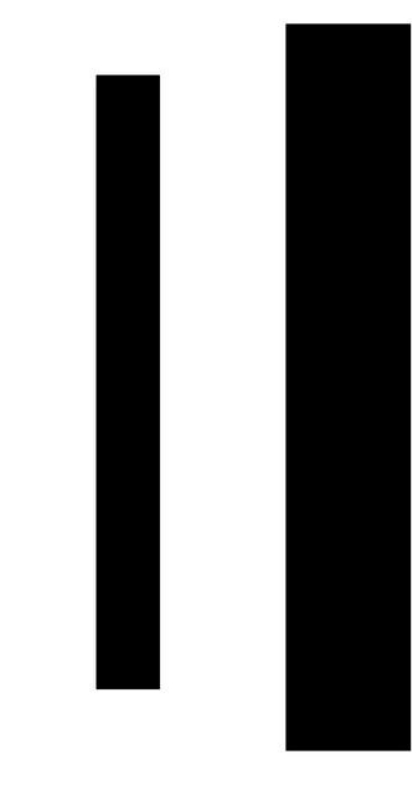
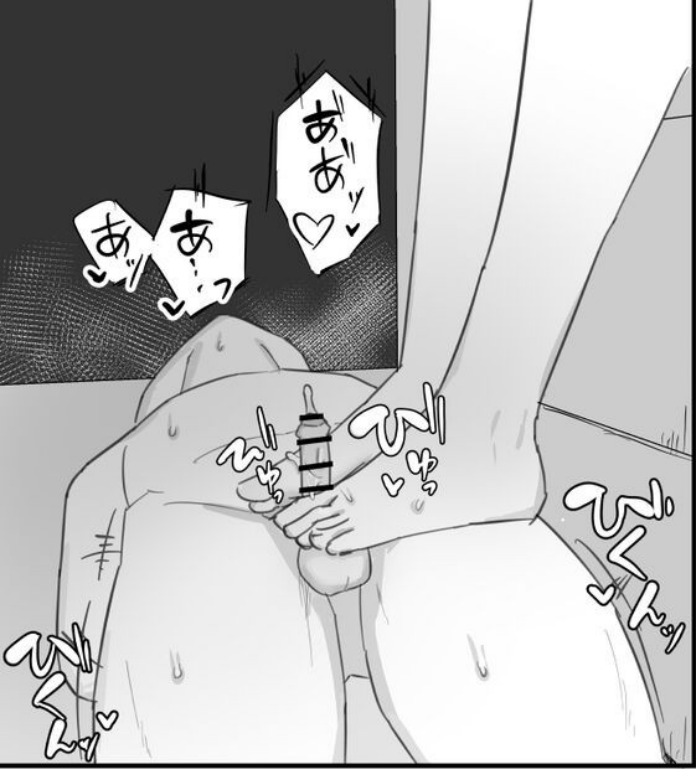
しっかり舐めて
私の匂いを
覚えなさい

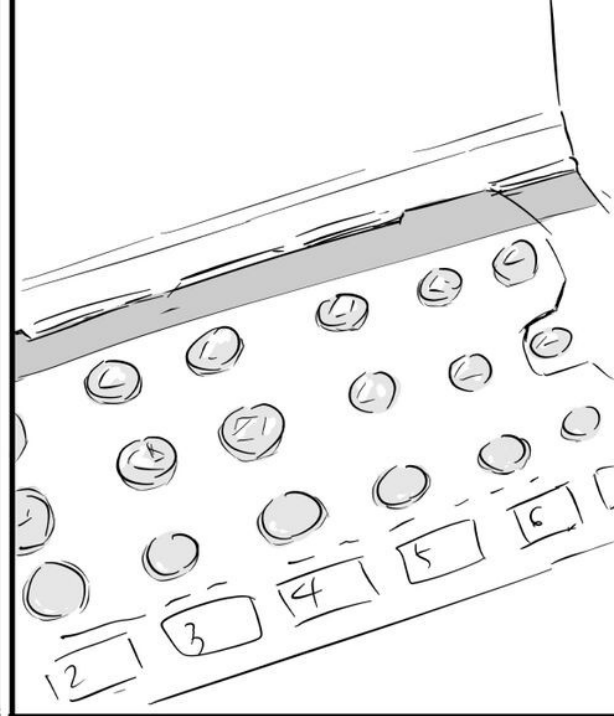
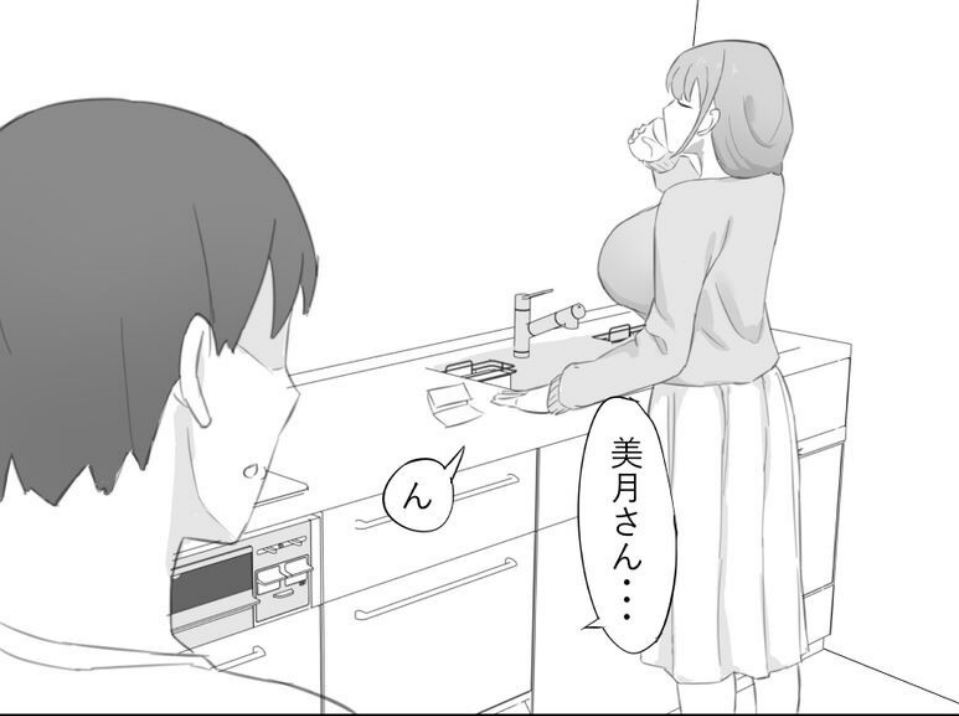
それから妻は何度も
社長の性欲のはけ口にされた

















あなた
ちよつとがまんしててね

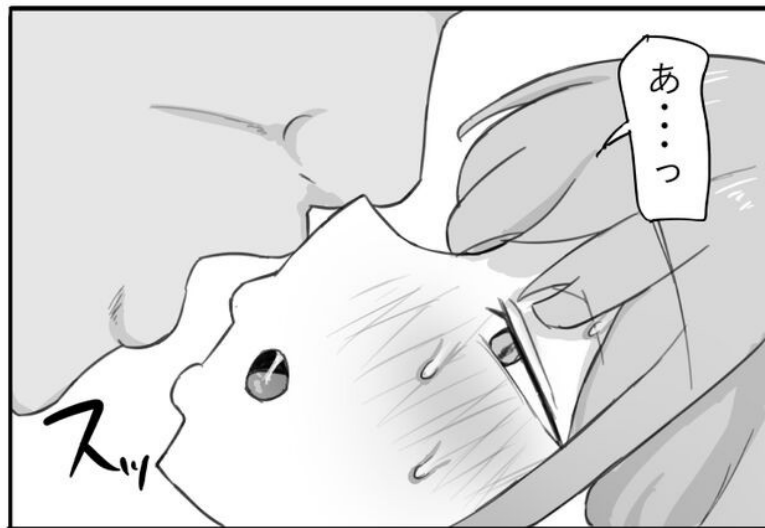
み
美月さん



なるべく
早く終わらせるから

や
や
まっ











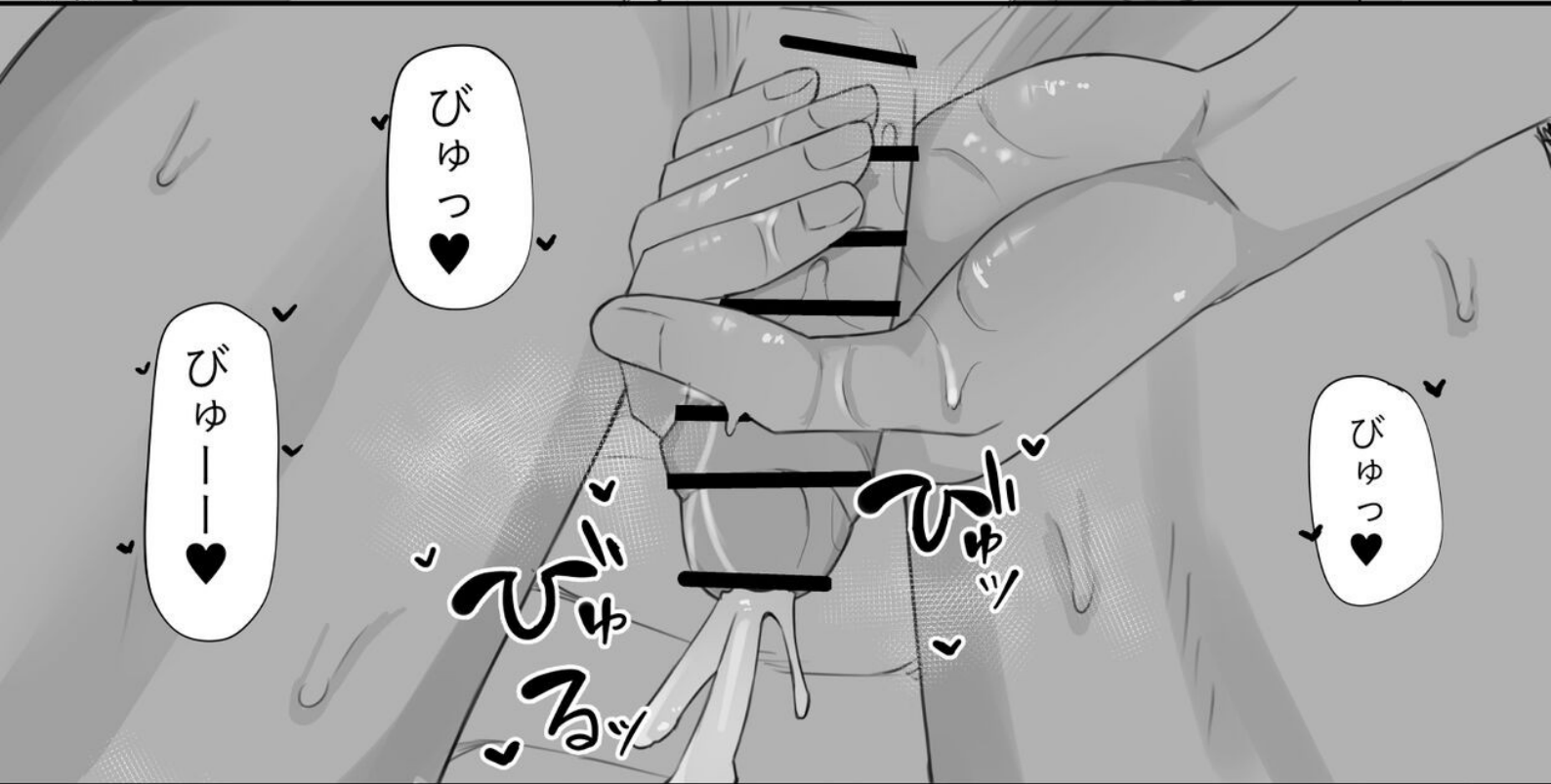


私のおまんこは
もう社長のものだから
手で我慢してね：：♥

ほら
イッていいわよ♥

あ、

あ、あ、あ、



びゅっ♥

びゅっ♥

びゅー♥

びゅっ
るっ

びゅっ



あ、あ、あ、

あ、あ、あ、



ふう
もう休憩はいいか

んっ♡
そうですか？
なんだか
恥ずかしい…♡

美月さんも
すっかりちんぽ
しゃぶるのが
うまくなったな♡



はい♡



じゃあ
あなた
こっち来て♡



私の顔が見える
特等席♥

私が社長さんの
ちんぽで気持ちよく
なっちゃうところ

あなたはここで
ただ見てて♥



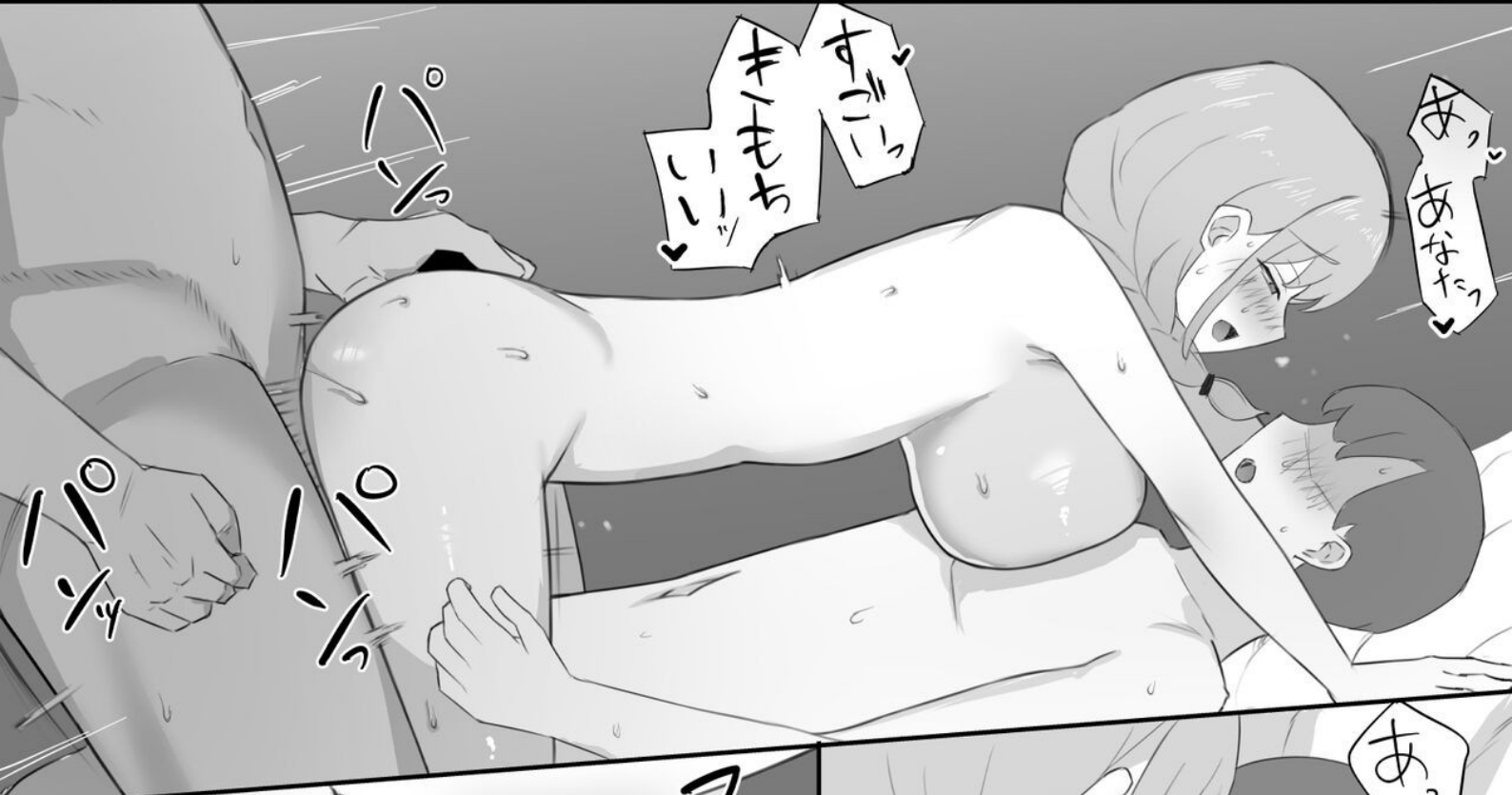
あゝ♥

はー♥

入ったわ
あなた…
来るわよ…♥

はー♥

すゝゝゝ





勝手におちんちん
いじっちゃダメでしょ♡

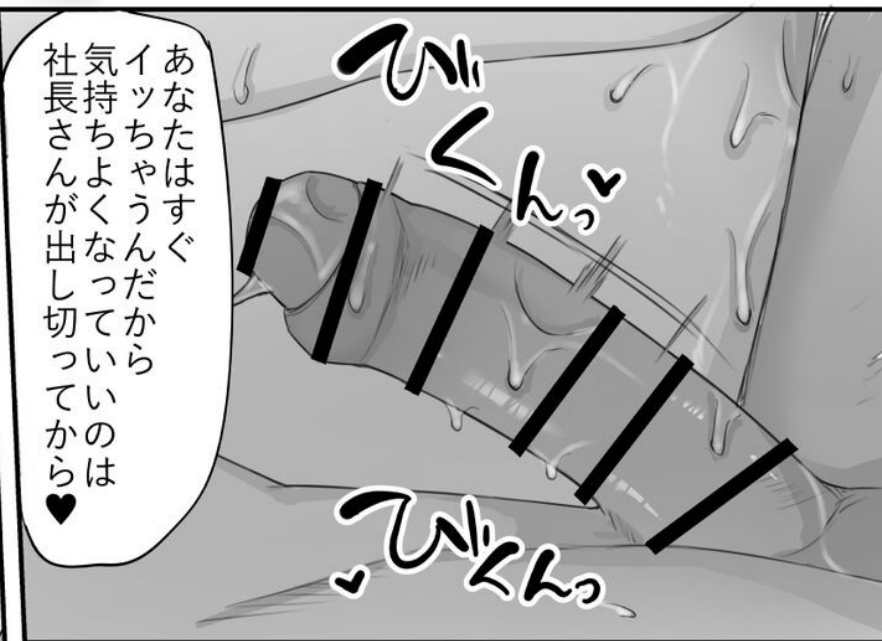
こーら♡



おちんちん勝手に
触ろうとした
罰……っ♡

ぱちゅ

ぱちゅ



あなたはすぐ
イッちゃうんだから
気持ちよくなっているのは
社長さんが出し切っているから♡



えい♡

んん

むぎ

